

精神保健福祉

みやざき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

65
2025

表紙説明 クルスの海（提供：日向市）

クルスの海は、日向灘の壮大な景観の中に位置し、自然が生み出した神秘的なスポットとして多くの方々に親しまれています。

「クルス」とは、ポルトガル語で「十字架」を意味し、その名の通り、巨大な岩礁がまるで十文字に割れたような形で広がっています。さらにこの十字に割れた岩のすぐ外側には、小さな岩場があり、十字と合わせて見るとまるで漢字の「叶」という字のように見えます。このことから、ここで願いごとを祈ると「願いが叶う」と言い伝えられるようになりました。



この青いTシャツ（愛称：青T）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないので 何時でもかまわないので 少しだけでもかまわないので
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか？」
というメッセージが込められています。

目 次

第64回 宮崎県精神保健福祉大会（令和6年度開催）

「わたしらしく あなたらしく生きる」	3
--------------------	---

精神保健福祉事業功労者（令和6年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人9名、2団体）	4
------------------------------	---

表彰受賞者の声（令和6年度）

宮崎市生目・小松台地区地域包括支援センター認知症地域支援推進員

大迫 健二（宮崎市）	9
------------	---

宮崎市民活動団体メンタルサポート“スローステップ”（宮崎市）

10

特定非営利活動法人福祉作業所ひなたぼっこ理事長

野川 喜美子（日南市）	11
-------------	----

社会福祉法人燐燐会理事長 小田 恭子（小林市）

12

特定非営利活動法人西諸地域活動センター菜の花理事長

吉村 洋子（小林市）	13
------------	----

たか鍋まごころサポーター会長 石本 典子（高鍋町）

14

就労継続支援B型事業所福丸縁施設長 福丸 順子（日向市）

15

音楽ユニット1623（いちろくにーさん）（延岡市）

16

就労継続支援B型事業所日融工房施設長 橋本 千代子（五ヶ瀬町）

17

第24回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

18

第24回宮崎県障がい者スポーツ大会グランドゴルフの参加

～医療法人建悠会 吉田病院 フレッシュハート～（延岡市）	19
------------------------------	----

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会	20
------------------	----

日南串間地域精神保健福祉協議会	21
-----------------	----

都城北諸地域精神保健福祉協議会	22
-----------------	----

西諸地域精神保健福祉協議会	23
---------------	----

西都児湯地域精神保健福祉協議会	24
-----------------	----

日向入郷地域精神保健福祉協議会	25
-----------------	----

延岡地域精神保健福祉協議会	26
---------------	----

西臼杵地域精神保健福祉協議会	27
----------------	----

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	28
一般社団法人宮崎県断酒友の会	29

地域で活動する自助活動グループ等の紹介

都城市地域活動支援センターぽかぽか（都城市）	30
------------------------	----

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和6年度事業実績	31
令和7年度事業計画	32
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	34
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	35

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

第64回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「わたしらしく あなたしく生きる」

1 開催日時 令和6年10月19日（土）12：30～15：30

2 場所 新富町文化会館

3 参加人数 385名

4 大会内容

(1) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	5名
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	9名 2団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	11名



(2) 体験発表

「私のリカバリー」

こころの駅ハッピーパーク利用者



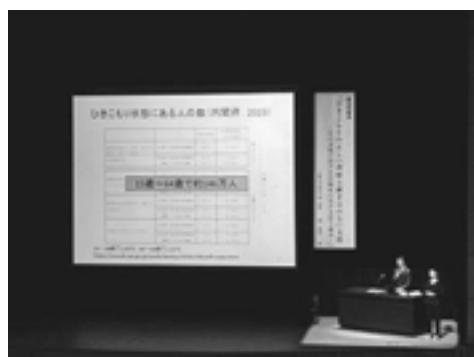
(3) 特別講演

演題 「ひきこもりの正しい理解と継ぎ目のない支援」

～その実現に向けた宮崎県における取り組み～

講師 宮崎大学教育学部教授 境 泉洋 氏

(4) 展示・販売コーナー



宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
おおさこ 大迫 健二	宮崎市	宮崎市生目・小松台地区地域生活支援センター 認知症地域支援推進員	<p>平成12年に、医療法人十善会県南病院に精神保健福祉士として入職。入職からの10年間は、串間市精神障がい者当事者会芽立ちの会に専門職ボランティアとして参加したり、地域生活支援センターWingの立ち上げに携わるなど、県南病院及び地域生活支援センターにて、精神障害者及び家族の支援に尽力した。</p> <p>平成19年には、宮崎県精神保健福祉士協会副会長に就任し、令和5年までの16年間、主に自殺対策担当として、自殺防止電話ライフルネット宮崎にも参加するなど幅広く尽力し、また、その間、精神保健参与員や精神医療審査会委員にも従事した。</p> <p>現在は、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員として、認知症当事者及び家族の支援に関わっており、これらの活動は精神保健福祉の推進に大きく貢献している。</p>
宮崎市民活動団体 メンタルサポート“スローステップ”	宮崎市		<p>「苦しい時や悲しい時や辛い時など、きつい時はゆっくりで大丈夫。少しずつ前に進んでいきましょう」という思いを込めて「スローステップ」を平成25年に設立。</p> <p>メンタルへのサポートを通して、社会の役に立ちたいという思いで産業カウンセラー、公認心理士、臨床心理士、保健師、キャリアコンサルタント、ひきこもり支援相談士等、専門性を持った会員で構成し、自治体などと連携しながら活動している。</p> <p>これまで死にたい気持ちの中学生、不育症や早産の経験をされた女性、子育て中の保護者、教員から生徒への心のケア、そして精神疾患の方からの相談など、延べ800件以上の相談を受けている。</p> <p>また、令和2年度からは、宮崎市にて、自殺予防対策事業（ゲートキーパー養成講座）、令和4年度より若年層の自殺予防対策推進事業（児童・生徒向けSOSの出し方教育、教職員向け自殺予防研修、大学生および専門学校生等向けゲートキーパー養成講座）等で、講師として活躍している。</p> <p>このように、自殺予防対策や心の健康支援活動を行っており、これらの活動は精神保健福祉の推進に大きく貢献している。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
のがわ 喜美子 野川 喜美子	日南市	特定非営利活動法人福祉作業所 ひなたぼっこ理事長	<p>「町内に障がい者の集える場所があれば通いたい」との声を受け、平成9年5月に現在のひなたぼっこの先駆けとして授産施設を設立。</p> <p>その後、自分の生まれ育った地域で地域の人と共に生き活きと過ごす人々のお手伝いをしたいとの信念から、平成19年に福祉作業所ひなたぼっことして認定を受けるとともに、グループホーム「ひなたハウス」を設立した。</p> <p>現在は、日南市自立支援協議会くらし部会及びしごと部会の部会員としても活動し、障がい者の地域での活躍の場づくりに尽力している。</p> <p>明るく何事にも前向きな性格で、障がいがあっても地域で自分らしく過ごせる居場所作りを目指して現在も精力的な活動を行っている。</p> <p>その姿から、関係機関からのみならず、地域住民から厚い信頼を得ており、地域にとって不可欠な存在となっている。</p> <p>これらの活動の地域への貢献は多大なものである。</p>
おだ 恒子 小田 恒子	小林市	社会福祉法人燐燐会理事長	<p>平成5年に、小林市内で知的障がい者通所施設の小規模作業所「ふれあいの里」を開所後、平成11年に社会福祉法人燐燐会を設立。</p> <p>現在は、障がい福祉サービス事業所「ふれあいの里」やグループホーム、児童発達支援センター、障害者就業・生活支援センター等、地域のニーズと共に様々な事業を展開しており、精神障がいを含む障がいのある子どもから大人まで幅広く支援を行っている。</p> <p>平成26年には、障がいについての理解促進や障がい者の社会参加を目的に、小林市役所の協力のもと「福祉ショップ」を立ち上げた。</p> <p>また、毎週水曜日には、誰でも気軽に来ることができる「えがお食堂」も開催しており、障がいに対する地域住民の理解を促進し、精神障害の有無や程度にかかわらず誰もが安心して生活できる地域づくりに貢献している。</p> <p>「障がいを抱える方やその家族、職員、地域がいきいきと輝いて生活できる居場所をつくりたい」という思いで、長年にわたって樂しみながら明るく精力的に活動を継続しており、これらの熱心な活動は、後に続く者の模範となるものである。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
よしむら ようこ 吉村 洋子	小林市	特定非営利活動法人西諸地域活動センター菜の花理事長	<p>平成25年より、就労継続支援B型事業所「菜の花作業所」でボランティアとして活動に携わった後、前理事長の退任に伴い、平成30年に菜の花作業所理事長を引き継いだ。</p> <p>現在は、勉強会への参加や研修会の企画・開催等、自身や職員等の精神疾患に対する理解の向上に努めるとともに、積極的に地域に出向きながら精神障がいへの理解促進を図っている。</p> <p>また、利用者とのコミュニケーションを何よりも大切にし、一人ひとりに寄り添ったあたたかな支援を行っており、令和6年3月からは、就労継続支援B型に加えて自立訓練（生活訓練）も開始する等、精神障がい者が安心して自分らしく生活できる居場所づくりに貢献している。</p> <p>このように、精神障がい者にとって居心地の良い安心できる場所となるよう、明るく精力的に活動しており、これらの活動は精神保健福祉の推進に大きく貢献している。</p>
よしこい みつまさ 吉井 光政	都農町	都農町家族会いちょう会会長	<p>平成14年より都農町家族会いちょう会に参加、平成15年より同家族会会长に就任し、現在に至るまで約22年間の長きに渡りその役を担っている。</p> <p>デイケア等の家族会の活動のみならず、自ら町内外の研修会に積極的に参加し、また、県内の様々な施設の見学やレクレーション活動等を行うなど尽力している。</p> <p>真面目で誠実な人柄であり、メンバーからの人望も厚く、その功績は顕著である。</p>
やまわき みちこ 山脇 常子	新富町	特定非営利活動法人ハッピーデイズグループホーム世話人	<p>平成15年にボランティアサークルに参加し、精神障がい者グループホームのイベント等において様々な活動を支援してきた。</p> <p>平成20年からはグループホームの世話人として従事し、長年にわたり入居者の日々の生活を支えている。</p> <p>また、その丁寧な仕事ぶりや親しみやすく温かな人柄から入居者に慕われており、グループホームにとって欠かせない存在である。精神障がい者が安心して地域生活を送れるよう一人ひとりに寄り添いながら支援しており、その功績は大きいものである。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
いしもと のりこ 石本 典子	高鍋町	たか鍋まごころサポーター会長	<p>平成19年に防災士の資格を取得し活動するほか、平成27年から現在まで地区公民館で介護予防教室を週1回開催している。</p> <p>令和4年には健幸アンバサダーの認定を受け、健康に関する情報発信を行うなど、その高い地域貢献の精神や健康意識のもと活動を行ってきた。</p> <p>平成28年からは、たか鍋まごころサポーター（高鍋町精神保健福祉ボランティア）としてその幅広い知識や経験を活かしながら活動している。令和4年には会長に就任し、高鍋町障がい者スポーツ大会における参加者支援や、地域の祭りでの啓発活動、精神障がい者施設訪問などに積極的に参加するなど、精神障がい者一人ひとりの地域生活に寄り添った支援を行っており、その功績は大きいものである。</p>
ふくまる よりこ 福丸 順子	日向市	就労継続支援B型事業所福丸縁 施設長	<p>平成20年2月、延岡市しょうがい者そุดらん室とびらを相談支援事業所として開所し、精神障がいや発達障がいの方々と関わる。その中で障がい者の就労場所が少ないと知り、「障がいを持つ方が働く場所をつくりたい」との思いから、平成23年2月に就労継続支援B型事業所「福丸縁」を設立し、利用者の障がいや希望にあった作業を通して、地域での生活の安定や目標に向かって過ごせるよう支援している。</p> <p>平成30年8月からは、日向市障がい者相談員のメンバーとして相談業務を行い、令和4年度には、精神障がいの方々が利用できる場が必要との思いから、日向市から地域活動支援センターI型事業を受託した。</p> <p>また、日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会に係る精神部会の立ち上げにも関わり、日常的に利用者の相談を受けたり、勤務時間外にも利用者の生活面を支援し共に歩むことで、精神保健福祉活動に尽力している。</p> <p>温厚で親しみやすい人柄から関係者からの信頼も厚く、精神保健福祉活動における功績は大変大きいものである。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
いちろくにーさん 1 6 2 3	延岡市		<p>様々なボランティア活動を精力的に行っていいる夫婦が、「地域活動支援センターみなと」からの声かけをきっかけに、平成29年に夫がギター演奏、妻がウクレレを演奏する夫婦ユニット『1 6 2 3』(いちろくにーさん)として「歌声喫茶」の活動を開始した。</p> <p>歌声喫茶では、多くの人が知る曲を選曲し、皆で楽しみながら一緒に歌えるよう、細やかな声かけを行い、簡単な振り付けや手話を取り入れるなど、からだ全体で音楽を楽しむ時間を共有している。</p> <p>初めは緊張や恥ずかしさで声が出なかった参加者も、今ではのびのびと楽しく歌うようになり、現在では、参加者が1 6 2 3 の出演するイベント会場に足を運ぶなど交流は広がりを見せている。</p> <p>このように、「音楽でまわりのみんなを元気にする」をモットーに、地域活動支援センターみなとで活動を6年以上にわたり継続しており、精神保健福祉活動の向上推進に寄与した功績は顕著である。</p>
はじめと ちよこ 橋本 千代子	五ヶ瀬町	就労継続支援B型事業所日融工房施設長	<p>五ヶ瀬町で障がいを持つ方々が働く場所や居場所を提供したいとの思いから、平成10年に小規模作業所「日融工房」を設立。その後会場の使用が難しくなり、平成16年に一旦閉鎖したが、地域住民からの再開してほしいとの要望を受け、平成26年4月に就労継続支援B型「日融工房」として再開し、令和5年8月1日には社会福祉法人日融会を設立した。</p> <p>「日融工房」では、さつまいも・ピーマン等の農作業や籠・草履作り、機織り等の作業のみならず、地域の方に精神障がい者の理解を促すことを目的とした地域貢献事業にも力を入れており、現在は、その施設長として精神障がい者・知的障がい者の就労継続支援活動に尽力している。</p> <p>また、西臼杵地域精神障害者地域移行支援協議会委員への就任や、障がい者の将来の生活が課題であるとの思いから、グループホームの建設に向け努力している。</p> <p>このように、精神保健福祉活動を推進するとともに地域貢献にも大きく寄与している。</p>

受賞者の声

宮崎市生目・小松台地区地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 大迫 健二

この度は、第64回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

私のソーシャルワーカーとしての原点は、県南病院で出会った精神障害当事者の方々との関わりです。退院支援に取り組む中で目の当たりにした厳しい現実。家族からも退院を反対され、多くのアパートの大家さんからも良い返事をもらえない中、ある一人の大家さんから親切にしていただきました。その後、その大家さんのご家族が精神障害当事者であることを知りました。そのことがきっかけとなり、やはり、まずは、精神障害当事者の実情を知ってもらうことが重要だと考え、行政や当事者会、家族会の方々に協力していただき、精神保健福祉ボランティア養成講座を開催しました。その後、幸運にも串間市に地域生活支援センターが立ち上がり、その立ち上げに関わることが出来ました。その地域生活支援センターのセンター長として、私を育てくれたのが、今は亡き、中村敏子センター長です。

中村センター長は、県の保健師時代に串間市の精神障害者の家族会や精神障害者の当事者会の立ち上げの中心となられた方です。また、県南病院で精神保健福祉士として働いていた私に、家族会や当事者会への参加を勧めてください、精神保健福祉ボランティア養成講座の開催を陰で支えてくださいました。中村センター長から教えていただいた「当事者活動への関わり方」や「当事者同士の分かち合いの大切さ」を、今は地域包括支援センターの認知症地域支援推進員として、認知症の当事者活動支援の中で活かすことが出来ていると感じています。

私のソーシャルワーカーとしてのこれから目標は、「当事者の声を施策に活かすことがあたりまえになる社会」です。県南病院時代に出会った精神障害当事者の方々との関わりから学んだことを忘れずに、「当事者のために」ではなく、「当事者とともに」という視点で活動していくたいと思います。



受賞者の声

宮崎市民活動団体 メンタルサポート“スローステップ”

この度は第64回宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、感謝申し上げます。

「苦しい時や悲しい時や辛い時など、きつい時はゆっくりで大丈夫。少しずつ前に進んでいきましょう」という思いを込めて「スローステップ」を平成25年に設立しました。

心の健康支援を通して社会の役に立ちたいという思いで、産業カウンセラー、公認心理士、臨床心理士、保健師、キャリアコンサルタント、ひきこもり支援相談士等、専門性を持った会員で構成し、自治体等と連携しながら活動することも多いです。

これまでに死にたい気持ちを抱えている中学生や、不育症や早産の経験をされた女性。子育て中の保護者、教員からの生徒の心のケアについて、そして精神疾患の方々からの相談などを、受けさせて頂いております。

また令和2年度からは、自殺予防対策にも力を入れさせて頂いております。宮崎県内の自殺対策事業に関わり、市民、学生、市職員、教職員、介護職員、民生児童委員向けへのゲートキーパー養成講座を数多く担当させて頂いております。悩んでいる人に対して、早い時点での気付き。声かけ。話を聴いて適切な場所へのつなぎ。そこで終わらず、見守り。そのようなことを、受講される対象者に合わせて、事例やロールプレイを盛り込み、自分ごとのように感じて頂けるような研修を心掛けております。また児童生徒には直接、「このような心や体の変化が出た時は、それは自分の中からのSOSサインなのかもしれないよ。大事に拾ってあげてね。そして苦しい時は1人で抱え込まないで相談するんだよ。あなたの方が大切なんだよ」というメッセージを込めた講義を、体験ワークを入れて行っております。子供達が目を輝かせて聴いてくれている様子は、私達も元気をもらいます。

私達がやれることは微力ではありますが誰かの心に届き、心豊かな社会づくりに貢献できればと、心から願っております。



児玉明子氏
(メンタルサポート“スローステップ”代表)

受賞者の声

特定非営利活動法人福祉作業所ひなたぼっこ
理事長 野川 喜美子

この度は、第64回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

思えば平成9年に「ひなたぼっこ」を立ち上げて早、今年で28年になります。平成8年に私の住む町、南郷町には障害者の集う場所が無いことに気付きました。精神障害のある友人に「この町に障害者の集える場所があったら通いたいか」と尋ねましたら「通いたい」との返事が返ってきました。「思い立ったら吉日」早速場所探しを始めました。

拠点が決まつたら次は作業内容です。色々と摸索する中で出会ったのが「さをり織」でした。今、東村アキコさんの映画「かくかくしかじか」のロケ地で有名になった串間市高松の「砂原逸子」先生と出会いました。砂原先生には懇切丁寧に教えていただき今では「ひなたぼっこ」の主流作品になっ

療育手帳 A の Y ちゃんが初めて、さをり織りでマフラーを作った時には「わたしが作ったの。お母さん使って」と、お墓に埋めたそうです。

またY君は、障害のあることを理解してもらえずに、やむなく犯罪を犯し、服役しました。服役後に、私の元に引き取りましたが、私の所から逃亡すること20数回。自転車で佐土原まで逃げたこともあります。またある時は「富士の樹海で死ぬつもりだった」と静岡県から電話してきたこともあります。衝動的に逃げますが、行きついた先で困り果てると電話してくるのです。こんなことを繰り返した彼も50代後半になりました。もう逃亡する体力はありません。

今は5年前に立ち上げたグループホーム「ひなたハウス」で生活しています。

障害者の施設は隔離された閉鎖的な場所ではなく、地域の皆さんとも繋がり、ふれあいのできる場所でありたいと思っています。

現在は、榎原神社のトイレ清掃も行っています。絵手紙や、お花で色どり、気持ちよく使っていただけていると思います。

これまで「ひなたぼっこ」を支え続けてくださった皆様への感謝を忘れずに、これからも尽力してまいります。



受賞者の声

社会福祉法人燐燐会理事長 小田 恭子

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、ありがとうございます。

34年前、私は勤務先への行き帰り、いつも道端で立っている青年を見かけました。障がいがあり、どこにも行けず道行く人や車をずっと眺めている、家族も働きに行けないので自宅に閉じこもりの生活を送っているとのことでした。

当時、小林市、西諸地区には知的障がい者の通う場所が無く、他にも同じような方がいらっしゃるのではないかと思い、日中は楽しく仲間と過ごし、夜は家族とともに暮らせるような場所が必要と感じて友人に話すとその人は私の手を握り、目を輝かしてそんなところがぜひほしかったと言いました。

それから空屋を探し、日替わり有志ボランティアで小規模作業所「ふれあいの里」ができました。6人の利用者から始まり三年後には18人になりました。その頃私に初孫が生まれたのですが何と二分脊椎の障がい児でした。なぜ? どうしてと、嫁も私も悩み、泣きました。私はボランティアで障がい者の施設を立ち上げたのに何の罰だらうと誰に恨みを言うのかと苦しました。そのとき初めて気づいたのです。いい気になって「障がいがあってももっと外に出ましょう」と言っていた自分は当事者の気持ちを理解していなかった、そしてこの方たちはいきなり大人になったのではない、生まれてずっと苦しみ、悩んできたのだと思いました。今度は子供の支援も必要だよと教えてくれたのが孫だと思いました。

皆で子供の成長を見守り、訓練や生活支援を行いながら保護者の気持ちを大切にいつでも集まれる場所の空き室を貸してほしいと福祉事務所長に相談したところ、障がい児デイサービスの計画があるが、引受け手がないので困っていたと言われました。そこで小林市の基で「障がい児療育センターほのぼの園」ができました。

障がい種別によらず利用者が増え、ボランティアでは責任が重く、専門性のある若いスタッフによる施設にしなければならぬと「社会福祉法人設立」をしました。かなりの手続き事務量があり、何度もくじけそうになりましたが平成19年に法人認可をいただいたときは感激でした。

現在は、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、相談支援事業所、障害者就業・就職支援センター、グループホーム等、必要に応じて拡大し、就職や工賃アップを目指し、精神障がいを含む障がいのある子どもから大人、そして家族まで幅広く支援を行い、生きがいとやり甲斐を持って楽しい日々に奮闘しています。良き理解者や職員に恵まれ、これまで係わって下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



受賞者の声

特定非営利活動法人西諸地域活動センター菜の花 理事長 吉村 洋子

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り感謝申し上げます。

2000年に、障がい者が、家から一歩出て親なき後も自立した生活がおくれるように、精神障がい者の家族会が菜の花作業所を立ち上げました。2018年、前施設長が退任した時、菜の花作業所の存続が危ぶまれました。ボランティアとして関わっていた私は、利用者たちが他の施設に分散するのを危惧し、この人たちの居場所を守る為に、理事長を引き受けました。建物の老朽化・耐震不足のため2019年に移転しましたが、様々な障がい者に対応するのに手狭になつた事と、自立訓練（生活訓練）を始めたのを機に、2024年に広い土地を購入してさらに新築移転しました。

就労継続支援B型では、パン・クッキー・カヌレ等の菓子製造と販売や、ペッポトル・アルミ缶・古紙・ダンボールの回収や分別のリサイクル作業をしています。受注作業は箱折り、バリ取り、椎茸駒打ちの施設外作業をしています。働くことによる達成感や頼られる喜び、さらに作業工賃の向上は自信に繋がります。また広い敷地を利用して小菜園を始めました。野菜の育つ面白さや収穫の楽しさを体感し、給食にも利用しています。

自立訓練では、B型での作業が難しい人やひきこもっている人にとって、家以外の居場所になることを願い支援しています。通所するだけでも緊張していた極度の不安症の人が、表情が穏やかになって笑顔が出てきました。週1日の通所から始まり、通所回数が増え、B型につながる事を願っています。地域には、まだ福祉の手が行き届かない人、家から出るのが困難な人が多くいます。気軽に来られる環境をつくり、地域や福祉に関わる人達に発信していきます。

菜の花作業所ではコミュニケーション力を高める為に、毎日全員ミーティングをしています。利用者が司会を務め、「今日の体調は？睡眠は？薬を飲んだ？」「今日の質問」に各自が答えます。毎回お楽しみのクイズは大盛り上がりです。見学者の皆さんには「明るい雰囲気の作業所だ」と言ってくれます。「安全・安心・笑顔あふれる作業所」を心がけて運営していきます。癒しの庭や果樹を育てて地域の人達と交流の場を作り、障がいについての理解を広めます。

これまで協力して頂いたご家族・会員や支援者の方々に感謝し、これからも福祉の発展のために頑張ります。



受賞者の声

たか鍋まごころサポーター会長 石本 典子

第64回「宮崎県精神保健福祉大会」に於いて、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り、大変光栄に感じると共に身の引き締まる思いをしています。そもそも、行政担当者から受賞候補の話を聞き、賞に値することは何もしていないと返答固辞した次第です。

たか鍋まごころサポーターとの係わりは平成28年5月「精神保健福祉ボランティア養成講座」の開催を知り参加したことからでした。当時「認知症対応型共同生活介護」のケアマネージャー業務をしており、単なる認知症と違うと思われる利用者を担当したことから精神疾患を併せ持つておられるのではと疑問を抱き、精神保健福祉を学びたく受講しました。年6回の講座、精神疾患の理解と対応について・当事者からのメッセージ・事業所での体験実習・傾聴等について学びました。福祉職の資格取得の為、広く浅く学んだ知識と違い精神疾患に特化した講義の、新たな学びに驚きを感じたこともあります。

平成28年から高鍋町精神保健福祉ボランティア養成講座「たか鍋まごころサポーターフォローアップ講座」に参加すると共に類似する研修会に町外でも参加致しました。

平成31年に「たか鍋まごころサポーターの会」の設立に賛同した会員で設立式が行われました。たか鍋まごころサポーターの定例会も開催されています。

何の巡り合わせか、令和4年から「たか鍋まごころサポーターの会」会長職に就任。専門用語も理解出来ず、その都度訊ねたこともあります。会員の親睦・融和を図るのが仕事と開き直り副会長と試行錯誤致しました。

サポーター活動として「ボランティア養成講座」の当日運営協力（ライングループを作り行事の周知・出欠確認）、郡・町主催の「障がい者スポーツ大会」の運営補助、高鍋城灯ろう祭りでの啓もう活動、施設・事業所等への視察研修・ボランティア（各種）を行い、研修会後に会員親睦の為に「食事会」等も行ってきました。

会員から「自分達が関わっている利用者さんは災害の時にどうするのだろうか」との声が聞かれ、自分自身が防災士資格を持っていることから「災害対策基本法の改正に伴い、行政は地区防災計画・個別避難計画の作成が義務化されていること」を会員に周知し、利用者さん方への伝え方を伝授しました。

今回の受賞も会員の支えがあったからこそその賜物と深く感謝すると共に、本会員が様々な課題に気づきスキルアップを図り益々発展していくことを切に望み挨拶と致します。



受賞者の声

就労継続支援 B 型事業所 福丸縁 施設長 福丸 順子

第64回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き誠にありがとうございました。大変恐縮でありましたが心から感謝申し上げます。

平成20年2月にしうがい者そだん室とびらを相談支援事業所として開所いたしました。

私は小学1年生の時に交通事故により左足大腿切断、右足の股関節形成不全の身体障害者であり、もう一人の相談員は躁鬱の精神障害がありました。当時、障がい者の相談支援員が珍しい時代でした。障がい者当事者の二人でピアの相談員として、相談業務を行っていました。その中で、障がいのある方たちの就労の場が少ないと、特に精神障害の方たちは、障がいをクローズにしなければ就職が難しいこと等の相談が多く、働くところや日中の居場所がなければ自分たちで作ろうと、平成23年の2月に、当時、縁のあった精神保健福祉士の協力を受けて、就労継続支援B型事業所「福丸縁」を設立し現在に至ります。

現在は、日向市のピアの相談員として毎週土曜の10時から12時まで交代でいとぴあにて相談を受けております。相談に来られた方々と共に働きたい気持ちで事業を起こしました。いろんな機関の関係者をはじめ、たくさんの方たちに支えられてどうにか15年目を迎えることになりました。様々な障がいのある方々と共に工賃向上に向けて日々作業を行っています。

主な作業は、食堂の経営とポップコーンを作り、卸、販売を行っています。他には、業者からの受け作業も頂き、切り干し大根のほぐし、検品、袋入れや、シール貼り、椎茸の石づき切りなど様々な作業を行っています。障害に応じて作業を選べるように、また、自助具を作り作業がしやすい様に、工程を細かく分けて作業の提供を行っています。

誰よりも楽しく働くをテーマに掲げての出発でした。「ありがとうございます」「感謝します」「ついています」プラスに変える感謝の言葉を合言葉に毎日利用者様たちと楽しく作業を行っています。

働くことの楽しさ働くことの豊かさをたくさんの方たちに知っていただき、仲間と共に個々の幸せに向かって精一杯生きていきたいと思います。

今回の賞を頂ける機会にご尽力頂いたすべての方々に感謝しお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



受賞者の声

音楽ユニット 1623



この度は、第64回宮崎県精神保健福祉大会にて「宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

私達「音楽ユニット 1623」は、夫婦で音楽活動をしています。平成29年から、延岡市地域活動支援センター「みなど」さんに、歌声喫茶と称し定期的に訪問しています。

参加された利用者さんやボランティアさんと一緒に歌詞カードを見ながら大きな声を出して、昔懐かしい昭和歌謡や童謡・はたまたアニメの歌までと、できる限りご要望にお応えしながら選曲し活動をしてきました。

途中コロナの蔓延が危惧され休止を余儀なくされる時もありましたが、「みなど」施設長さんはじめ職員さん達の協力を得て、行事の中で短い時間で歌う機会をいただいたり、マスク・アクリル板越しに開催したりと様々な工夫をしていただきながら約8年間続けてくることができました。

過ぎてみるとあっという間でしたが、先日表彰の時に改めて昔の歌詞カードを引っ張り出して数えてみたら、準備した曲数は400曲にものぼることが分かりました。よくもまあこんなに多くの曲の歌詞カードを作り、コードを起こして練習したものだと思います。

毎日、夕飯の後にギターを爪弾きながらの自宅練習、タイミングが合わず繰り返し歌ったりと色々とありましたが、子育ても終盤の熟年夫婦に会話の材料を与えてくれ、二人三脚で取り組んだことで、利用者さんも「ほっこりとしたお2人の会話が良いね」と言ってくださいり、時には「漫才だった?」とからかわれることもしばしばありました。

大変なこともありましたが、何より一緒に歌える楽しさを感じ、利用者さんの笑顔や体を揺らして歌う様子を見て嬉しくなり、「また次も来よう」と私達の方が感動をいただきながら楽しく続けてくることができました。

一昨年から、ご縁をいただいて、市内数カ所の認知症カフェ（オレンジカフェ）さんで同じような歌声喫茶活動を開催する機会をいただきました。また、参加された方からのお声かけで横に活動が広がっていっています。

今後もたくさんの方達とのご縁を大切にしながら、参加された皆さんと音楽と一緒に楽しむことができれば幸いです。

受賞者の声

社会福祉法人 日融会 就労継続支援B型事業所
福祉作業所 日融工房 橋本 千代子

この度は、第64回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り感謝申し上げます。

五ヶ瀬町では、障がいを持った方々が働く場所、安心して過ごす場所がなく、地域の人たちの声、家族の声、関係機関の協力のもと、平成10年4月に、郡内にはまだ数少なかった小規模作業所日融工房を立ち上げました。当時はどんな支援をしたらよいのか利用者さんと手探りに室内作業をした事が懐かしく思い出されます。

作業場所として借りていた所をしばらく休む事になり、心を痛めていた時に、近くの保育所跡地が使用できることになり、行政等の協力のもと、平成26年4月に今の就労継続支援B型事業所福祉作業所日融工房を開設することができました。仕事内容も地域の方々のご協力により、充実した活動・支援ができるようになりました。

たくさんの田畠を提供いただき、農作業ができるようになり、有機栽培した野菜を給食に利用し、安全・安心の心温まる食事を利用者様に提供することが当事業所のアイデンティティとなりました。この野菜一つ一つは、利用者様全員で作ります。種まきをする人、苗ができた後に畑へ植え付ける人、手入れをする人、収穫する人、室内で袋詰めをする人、支援員と販売に行く人など、一つの野菜作りを細かに工程分けし、利用者様の特性に合わせた作業内容、支援をしております。

利用者様のストレンジスやできるところを見つけていくために、管理者、サービス管理責任者という役職にとらわれず、職員みんなが利用者様と一緒に野菜作りをしました。収穫の際にこぼれるような笑顔で、土だらけになりながら、野菜を私のところに「見て、見て、できたよ！」と持ってくる利用者様の姿に、喜びと、「寄り添える支援」とは何なのかを日々考えさせられました。

小規模作業所に始まり、五ヶ瀬町初の就労継続支援B型事業所の開設を経て、令和5年8月には、関係機関、地域の声に応えるべく社会福祉法人日融会を立ち上げることができ、次の目標へ向かっております。福祉のバトンを次世代へと繋げつつある状況に感謝し、これからも日々邁進してまいります。



第24回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第24回宮崎県障がい者スポーツ大会が令和7年5月11日（日）にひなた宮崎県総合運動公園を中心に開催されました。

本大会は、障がいのある選手が、障がい者スポーツの祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

選手の皆さんには、家族や友人の方からの声援を受け、これまでの練習の成果を存分に発揮されており、スポーツの素晴らしさを感じる大会となりました。

参加して頂いた選手や役員の皆様、本当にありがとうございました。

1 参加者数

10競技に787名 うち精神障がいの方90名

2 精神障がいの部の参加者数

- | | |
|-------------|------------|
| ・ バレーボール | 2チーム（9名） |
| ・ ミニバレー | 1チーム（6名） |
| ・ グラウンド・ゴルフ | 17チーム（70名） |
| ・ 卓球 | 5名 |

● [結果]

バレーボール	優勝	江南よしみフェニックスA	(宮崎市)
ミニバレー	優勝	笑顔	(新富町)
グラウンド・ゴルフ	優勝	Aコース フレッシュハートA	(延岡市)
		Bコース カレーチーム	(宮崎市)
卓球	優勝	男子の部 工藤 美樹雄	(高千穂町)
		女子の部 一瀬 たか子	(延岡市)



第24回 宮崎県障がい者スポーツ大会

✿ グランドゴルフの参加 ✿

～医療法人建悠会 吉田病院 フレッシュハート～

第24回宮崎県障がい者スポーツ大会が開催され、グラウンドゴルフに吉田病院デイケアの「フレッシュハート」から2チーム参加しました！

優勝



第3位

毎年、楽しみにしていたスポーツ大会に今年も参加出来てとても嬉しく思います！今年は雨のせいで練習不足でしたが、みんなうまくできたと思います(^o^)



優勝のご褒美に
食べた
ソフトクリームが
美味しかった！



～参加者コメント～

- ✿ 今年は、雨の心配もなく競技に参加できてうれしかったです。
- ✿ メンバー力合わせて楽しみながらプレーすることが出来て本当に良かったです。
- ✿ 楽しくプレーできました。
- ✿ 来年も優勝出来る様に練習頑張ります。

宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

こころの健康づくり講演会

「大人の発達障害～生きづらさの対処法～」

講 師：昭和大学発達障害医療研究所 所長（准教授） 太田 晴久 氏

期 日：令和6年10月21日（月）～12月15日（日）【オンデマンド配信】

参 加 者：214名

大人になるまでにあまり気にならなかったことが、他人とは違うといった感覚を徐々に自覚しはじめ、周囲に相談できず孤立してしまうといった『大人の発達障害』が社会問題となってきてています。

太田氏から家族や職場などの周囲からの支援について、それぞれの特性に合わせた方法をご教示いただきました。また、「周囲の理解を広げるのみならず、本人が自身の特性に気づき受け入れることも大切」とのお話もありました。

参加者からは、「わかりやすくて、はっと気付かされる内容だった」「受診してどのような病名がついたのか等、データで示していただけてわかりやすかった」などの感想が聞かれ、『大人の発達障害』について学ぶことができる機会となりました。



協議会だより「ゆとり」発行

精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動報告を中心に編集した宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第29号』を発行しました。

今回は、第64回宮崎県精神保健福祉大会の様子や会長表彰者のインタビュー記事、宮崎県障がい者スポーツ大会の様子、早稲田クリニックやあいクリニックでの施設外活動紹介について掲載しました。

また、広報誌を手にとってくださった方に協議会での活動を知ってほしいという思いから、令和6年度の事業報告と会員募集のコーナーも設けました。



今後も様々な活動を通じ、地域精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ってまいります。
御協力をお願いいたします。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主に、交流会等のイベントや家族会等への活動助成、協議会だよりの発行等を行っています。

【精神障がい者・家族・支援者交流会】

期 日：令和6年12月2日（月）

場 所：南郷中央公園 南郷くろしおドーム

参加者：113名

（医療機関デイケア、地域活動支援センター、地域生活支援センター、家族会、民生委員
児童委員協議会、レクリレーション協会、市 等）

内 容：精神障がい者やその家族、支援者、地域住民等がレクリエーション等を通して交流を深めるとともに、精神障がい者に対する理解を促進することを目的に、交流会を開催しました。グランドゴルフやレクリエーションゲーム、全体レクリエーションを行い、参加者同士で声かけをし合う様子や、待ち時間での会話もみられ、楽しい交流会となりました。



【協議会だより「潮騒」の発行】

令和7年3月に、日南串間地域精神保健福祉協議会だより「潮騒 No. 33」を発行し、会員や関係機関等に配布しました。

精神障がい者・家族・支援者交流会の様子、管内事業所の紹介、精神保健福祉事業功労者表彰者等を掲載しています。



都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や家族交流会、普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

令和6年度は、「子ども・若者の発達障害」をテーマに下記講演会を開催しました。

日 時：令和6年12月21日（土）午後1時30分～午後3時20分

場 所：祝吉地区公民館

参加者：41名（一般、医療機関、相談支援事業所、教育機関、行政等）

内 容：演題：「ポジティブ生活デザイン～子ども・若者の発達障害の特性と二次障がいを防ぐための
関わりについて」

講師：宮崎県中央発達障害者支援センター センター長 水野 敦之 氏

講演では、ポジティブ体験が増える空間づくり、本人のイメージから支援に入ることなど、発達障害の特性に応じた支援のポイントについて分かりやすくお話しいただきました。参加者からは、「ASDやADHDの具体的な特性が分かりやすく、行動の背景がイメージしやすくなりました。」などの感想をいただき、子どもと若者の発達障害について学ぶ大変貴重な講演となりました。



【家族交流会】

令和6年度は、統合失調症の方のご家族を対象とした家族交流会を開催しました。

日 時：令和6年11月5日（火）午後2時～午後3時30分

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：8名

交流会では、統合失調症当事者の方とグループホーム職員の方が来所し、当事者の立場での思いやグループホームでの生活について紹介しました。また、精神障がい者を支える中での悩みや日々の関わりで気をつけていることなど、ご家族同士で自由に意見交換を行いました。



【協議会だより「オアシス」の発行】

令和7年3月に協議会だより「オアシス」を発行しました。令和6年度の協議会の活動報告、宮崎県精神保健福祉大会の様子、「突撃！地元の事業所さん」と題して、就労移行支援事業所 ぱそあぱそ の紹介等を掲載しています。



西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しています。

【西諸地域精神障がい者文化交流会「第 20 回こすもす祭】

令和 6 年 11 月 16 日（土）、高原町ほほえみ館神武ホールにて、5 年ぶりにこすもす祭を開催しました。当事者や事業所、関係機関、ボランティア団体等の皆様にご協力をいただき、様々な催しを実施しました。参加者は 300 名を超える、会場には笑顔があふれる、素晴らしい文化交流会となりました。



【社会資源見学会】

令和 7 年 2 月 26 日（水）、精神科病院職員や指定一般相談事業所職員、行政職員等を対象に社会資源見学会を開催し、地域のサービス提供事業所やグループホームを見学しました。参加者からは「利用者の様子や施設内を見て勉強になった」「退院支援のアプローチの参考になった」等の感想が寄せられました。



【こころの健康出前講座】

令和 6 年度より、精神障がい者に対する理解促進及び普及啓発を目的に、当協議会理事が所属する関係機関の職員等が、地域住民等の要請に応じて、精神疾患やメンタルヘルス等に関する講話をを行う活動を始めました。



【協議会だより “ときめき第 26 号” の発行】

令和 7 年 3 月に協議会だより “ときめき第 26 号” を作成し、会員や関係機関等へ配布しました。協議会の活動報告、精神保健福祉事業功労者表彰者等を掲載しました。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

当協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【第64回宮崎県精神保健福祉大会】

令和6年10月19日（土）に新富町文化会館にて行われた第64回宮崎県精神保健福祉大会では、新富町内にある特定非営利活動法人ハッピーデイズこころの駅ハッピーパークの利用者による体験発表とバンド演奏や西都児湯地域のデイケアや就労継続支援事業所の利用者が作った品物を展示・販売し、精神障がい者への理解促進のための活動の場にもなりました。



【精神障がい者の家族のための研修会】

日程：令和7年1月14日（火） 場所：高鍋保健所 参加者：32名

内容：（1）活動紹介「地域活動支援センターは何するところ」

講師 地域活動支援センターI型しんとみ職員

（2）体験発表「わたしのリカバリーストーリー」

発表者 地域活動支援センターI型しんとみ利用者

（3）家族会紹介：新富町ふたば会

（4）事業所紹介「健康な今だからこそ考えてみませんか？」

講師 一般社団法人 未来支援らしさ 理事 黒木 麻衣子氏

「地域資源を知ろう。つながろう。」をテーマに地域資源について理解を深め、家族と支援者との顔の見える関係をつくり「つながり」を持つことで家族がより安心して地域の中で自分らしい自立した生活を送れるよう支援することを目的として実施しました。参加者からは、「知らなかったサービスについて知ることができた。」等の感想が聞かれて非常に有意義な研修会となりました。

【協議会だより「心と心のたより」の発行】

令和7年3月に協議会だより「心と心のたより26号」を発行しました。精神保健福祉事業功労者表彰や西都児湯地域精神保健福祉協議会の活動を掲載しています。



日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、諸塙村、椎葉村、美郷町内の24の関係団体及び賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【さわやか交流会】

スポーツを通じて交流の輪を広げ、精神障がい者の社会参加の促進を図ること、地域との交流を通じて精神保健福祉に関する理解を深めることを目的として開催しました。

今大会では、パラリンピックで話題となったボッチャを初めて実施しました！

※ボッチャは、ヨーロッパで生まれた障がい者スポーツのひとつで、ボールを投げたり転がしたりして、年齢・障がいの有無に関わりなく競い合えるスポーツです。

○期日：令和6年1月13日（水）

○場所：サンドーム日向

○内容：ボッチャ、ホールインワン大会

○参加者：61名（医療機関、市町村デイケア等）

ボッチャの様子です。

真剣なまなざしで一投一投集中しています。



【こころの健康づくり講演会】

地域住民に関わる機会の多い民生委員児童委員や、当事者本人・ご家族が、メンタルヘルスに関する正しい知識の習得と、セルフケアの大切さを理解する機会とすることを目的に研修会を開催しました。参加者からは「支援に活かすために参加したが自分が楽になった」等の感想をいただきました。

○期日：令和7年1月9日（木）

○内容：精神科医による講演

演題「メンタルヘルスとレジリエンス

～格好悪くしなやかに生きるために～」

講師 医療法人 清芳会 井上病院 米良 誠剛 氏

○参加者：22名



【協議会だより「さわやかだより第25号」の発行】

令和7年3月に協議会会報「さわやかだより」を発行し、会員や関係機関等に配布しました。

協議会の活動報告、精神保健福祉事業功労者表彰者等を掲載しました。

延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

【延岡こころの美術展】



●期 日：令和6年9月14日（土）から9月20日（金）

●場 所：イオン延岡ショッピングセンター

精神障がいのある方々が制作した絵画、書、造形作品等といった数々の美術作品を特設会場に展示しました。イオンへ買い物に訪れた方々が足を止めて鑑賞される様子があり、こころの健康に関する啓発や制作の成果を発表する機会となりました。作品を通じて多くの人とつながるきっかけになりました。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

●期 日：令和6年10月8日（火）

●場 所：アスリートタウン延岡アリーナ

6年ぶりの開催となった今回の大会では、卓球バレーを競技種目とし、当事者、ボランティア、スタッフあわせて計66名が参加しました。会場では熱戦が繰り広げられ、参加者からは「楽しかった」「他のチームとも交流できて良かった」等の声がよせられ、スポーツを通じて交流の輪を広げ、親睦を深める機会となりました。



【こころの健康づくり講演会】

●期 日：令和6年10月4日（金）

●テーマ：依存症についてあなたが大切な人のためにできること
～ギャンブル、スマホ（オンラインゲーム・SNS）、
アルコール、薬物依存の理解と対応～

●講 師：医療法人横田会 向陽台病院 院長 比江島 誠人 氏

比江島先生からは、様々な種類の依存症についての正しい知識や基本的な対応について、丁寧に御講演いただきました。



参加者からは、「依存症はいつでも誰でもなり得ると思った」「本当の気持ちを言える大切さ、否定しない大切さを心に留めて支援したい」等の声がよせられ、学びや気付きの多い研修となりました。

【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供をしてこころの広場第40号を発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【アルコール関連問題啓発】

期　日：令和6年11月12日

場　所：スーパーマーケット アズーロ高千穂店

参加者：16名（9団体）

内　容：

アルコール関連問題が自殺の危険因子のひとつであること等、正しい知識や相談先を知り、またアルコール関連問題について考え・気づく機会となることを目的として、地域住民の皆様を対象に啓発活動を行いました。

高千穂警察署と協同で啓発活動を実施しており、1時間で100部の啓発資材を配布しました。また、啓発用ののぼり旗を作成し、啓発活動で使用しました。



【西臼杵郡障がい者スポーツ大会】

令和6年11月20日、高千穂町武道館で令和6年度西臼杵郡障がい者スポーツ大会が行われました。

全体で約90人（精神障がい者：約20人）が参加した今大会は、赤・白・青の3つの団に分かれ、アキュラシー玉入れ、カローリングや徒競走など8種目で熱戦が繰り広げられました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会からは、参加者全員に参加賞をお渡ししました。

参加者は交流を深め、笑顔で競技を楽しみながら、優勝を目指して頑張りました。



【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

こころの健康づくりと精神障がい者支援・精神保健福祉情報の提供・啓発を目的として、年1回広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しています。

また、当協議会の活動のひとつである、精神障がい者の就労継続支援事業所等活動費助成についても紹介しております。こちらは、管内の就労支援事業所等に対して、働く場の環境整備や就労に必要な知識や能力向上のための訓練やその他活動に要した費用について、助成を行うものです。

宮崎県精神福祉連合会 令和6年度活動報告

- 1 令和6年11月2日に宮崎県共同募金会主催の街頭募金活動に参加しました。
 - 宮崎市橋通りの山形屋交差点前に立ち、募金の協力を呼びかけました。大きな声で呼びかけると、協力していただく方が多くいて、うれしく感じました。
- 2 精神障がい者への医療費助成の嘆願書署名活動に参加しました。
 - 小林市の家族会を中心に、宮崎県の各地域の家族会や関係者に協力をいただき、精神障がい者の医療費助成の実現に向けて取り組みました。身体障がい者や知的障がい者に加えて、精神障がい者も医療費公費負担の対象にしてもらえるよう取り組んでいます。多くの方からの署名をいただき、一歩ずつですが前進することができました。ご協力いただいた方には、ほんとに感謝しております。
- 3 令和6年11月21日、22日に「九州ブロック大会」に参加しました。
 - 公益社団法人全国精神保健福祉連合会主催による「九州ブロック大会」が、福岡市にて開催されたので参加してきました。九州各県の家族会や、施設の関係者と意見交換・交流を行いました。人口の少ない市町村は、どこでも家族会の会員減少に、悩んでいるようでした。家族会への運営のやり方等について、皆で意見交換することができました。
- 4 宮崎市や県南（日南市・串間市）方面の家族会と意見交換会を実施しました。
 - 宮崎市や県南方面にお伺いして、家族会の皆さんと意見交換・交流をしました。会員の皆さんからは、親なきあとのこと・就労の不安などの悩みがあるという意見がありましたので、令和7年度は、こうした意見を参考に勉強会などを行いたいと思います。引き続き、各地域の家族会の皆さんのが届けられるよう取り組みます。
- 5 令和6年12月6日に綾町にて農耕・収穫体験をしました。
 - 綾町にて、宮崎市の家族会が運営する畑に植えたニンジンを、当事者・家族の皆さんで収穫をしてきました。空気の澄んだ場所で、みんなと和気あいあいと過ごすことができました。家族も、当事者も日々の生活で抱える悩み等を忘れて楽しむことができたと喜んでくれました。この企画は、令和7年度も続けたいと思います。

聞くは最高の治療：話すは最高の治療

一般社団法人宮崎県断酒友の会
理事長 海江田徳行

私達、依存症者は依存症を治す薬は残念ながらありません。私達、依存症者は仲間の体験談を聞き、共感し自分の体験談を話し、自分の過去を思い出し、一日断酒を目指して回復の道を歩き出す。断酒会例会という、聞く・話す最高の場所があることは、本当に喜ばしいことです。

断酒会は、自分回復のためと別に啓発活動にも力をいれており、昨年度は10月6日にSBIRTS普及推進セミナー（問題飲酒者に対してスクリーニングテストを実施して簡易介入を行い、依存症の疑いがあれば専門医療機関に繋ぎ、自助グループへ紹介する方法）、11月10日にアルコール健康障害対策一般公開セミナーを宮崎県精神保健福祉センターと共に開催、11月20日には宮崎駅前広場にて飲酒運転撲滅街頭キャンペーンのチラシ配布を北警察署の協力を得て行いました。

令和7年2月4日に『アルコール依存症家族の集い』の開催。この家族の集いは、昨年度で2回目となりましたが、参加者から高評価で今年度も計画しております。

断酒会はこれからも、行政・医療機関等と連携し未だアルコールで悩み苦しんでいる当事者・家族の方の手助けとなるように活動を続けていきます。



街頭キャンペーン



SBIRTS普及推進セミナー



家族の集い



アルコール健康障害対策一般公開セミナー

都城市地域活動支援センター ぽかぽか

当センターは令和7年1月に開所しました。前身の「ぽかぽかサロン」の時から当事者の会「ピア交流会」「ピアサポート・ピアソーターを学びあう会」を毎月開催しています。どちらもピアサポートスタッフのファシリテーションで進めていきます。

今後の日程はホームページをご確認ください⇒

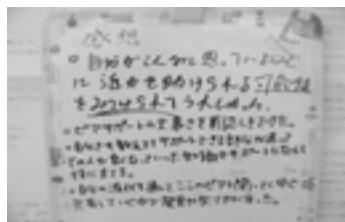


ピア交流会



ピア交流会は ①安心して話せる仲間づくり ②あたたかい心のふれあい を目的に毎月開催しています。毎回様々なテーマでワークショップを行っています。6月は「外に出られないときの楽しみ」と、将来どんな幸福を目指すかを考える「幸福の木づくりワーク」を行いました。参加者からは『癒やされるあたたかい意見が聞けた』『人の話が聞けるのは気分が切り替わって良かった』などの感想が出されました。

ピアサポート・ピアソーターを学びあう会



毎月上記のピア交流会の後に有志で集まり、ピアサポートやピアソーターについてテーマを決めて開催しています。毎回「ピアとは」「ピアサポート・ピアソーターとは」「リカバリー」について、確認した上で始めています。6月は、ピアとして自分の体験を活かして他の方に貢献できることを考え、皆でシェアしました。『誰かを助けられる可能性を見つけられて嬉しかった』などの感想が出されました。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和6年度事業実績

1. 会議開催

- (1) 第1回総会（令和6年5月31日）
 - ① 会則別表第1の改正について
 - ② 役員の選任について
 - ③ 令和5年度事業実績について
 - ④ 令和5年度収支決算について
- (2) 第1回理事会（令和6年8月5日）
 - ① 精神保健福祉功労者の会長表彰の選考について
 - ② 精神保健福祉みやざき（第64号）の発行について
- (3) 第2回総会（令和7年3月3日）
 - ① 令和7年度事業計画（案）について
 - ② 令和7年度当初予算（案）について
 - ③ 第65回宮崎県精神保健福祉大会開催概要及び特別講演等について
 - ④ 令和7年度の全体テーマ及び大会テーマについて
 - ⑤ 報告事項
 - ・第64回宮崎県精神保健福祉大会について

2. 大会開催

- (1) 第64回宮崎県精神保健福祉大会
 - 令和6年10月19日（土） 新富町文化会館にて開催
 - 参加者 385名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与 11件（個人9名、2団体）



4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業 (助成額 35万円)
 - ① 宮崎県精神福祉連合会 (助成額 30万円)
 - ② 宮崎県断酒友の会 (助成額 5万円)

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第64号）」の発行・配布（600部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.79）」の作成・配布（6,000部）
- (3) 専用ホームページの運用
- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（那覇市）令和6年11月22日
- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会（WEB開催）令和6年7月23日

令和7年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第24回宮崎県障がい者スポーツ大会
令和7年5月11日（日）会場：ひなた宮崎県総合運動公園、ひなた武道館他
- (2) 第65回宮崎県精神保健福祉大会 令和7年11月8日（土）

2. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 第65回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第65号）」の発行・配布（600部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.80）」の作成・配布（6,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」等の運用
ホームページアドレス (<https://www.miya-seiren.com>)
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス (<https://www.m-aot.net>)
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布



4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（令和7年6月2日（月）開催）
令和6年度事業実績・決算承認など
- (2) 第1回理事会（令和7年8月4日（月）開催）
会長表彰者決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会（令和8年3月2日（月）開催予定）
令和8年度事業計画・当初予算、精神保健福祉大会など

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（福岡県）
- (2) 第72回精神保健福祉全国大会（鳥取県）



宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

令和7年6月2日現在

役 名	氏 名	役 職 名
会 長	高宮 真樹	宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会 会長
副 会 長	石田 康	宮崎大学名誉教授
常務理事	直野 慶子	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	藤元 ますみ	日南串間地域精神保健福祉協議会 会長
理 事	竹内 康三	都城北諸地域精神保健福祉協議会 会長
理 事	内村 大介 〃	西諸地域精神保健福祉協議会 会長 宮崎県精神科病院協会 会長
理 事	首藤 謙二	西都児湯地域精神保健福祉協議会 会長
理 事	二宮 嘉正	日向入郷地域精神保健福祉協議会 会長
理 事	吉田 建世 〃	延岡地域精神保健福祉協議会 会長 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 会長
理 事	平野 羊嗣	宮崎大学医学部臨床神経科学講座 教授
理 事	中村 究	宮崎県精神科診療所協会 会長
理 事	北薗 武彦	宮崎県福祉保健部福祉保健課 課長
理 事	隈元 淳二	宮崎県福祉保健部障がい福祉課 課長
理 事	棄畠 貴志	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	海江田 徳行	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	永田 照明	宮崎県障害者社会参加推進センター 所長
監 事	坂本 雅樹	宮崎県社会福祉協議会 事務局長
監 事	古家 隆	宮崎県保健所長会 会長

●役員数：理事19名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年間、新任者も同じ）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

令和7年10月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾田西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都兒湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	兒湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大賀町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0806	宮崎市広島1-17-21 中村クリニック内	0985-32-7830	0985-32-7831	
宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	https://www.mikensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0014	宮崎市大塚町浜川田4933-7	090-3415-8820	0985-64-8948	
一般社団法人 宮崎県断酒友の会	880-2213	宮崎市高岡町上倉永2644-3	090-5026-6603	0985-82-1898	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	https://www.miyashinren.jp/
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	https://www.seihocenter-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	宮崎市大字恒久5567 野崎病院	0985-51-3111	0985-51-3114	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳土80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町數太木1749-1	0985-39-8966	0985-39-0634	https://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	https://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	https://www.koujunkai.jp/nozaki
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
社会医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	https://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員	病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム	大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	https://dh.fujimoto.com/
医療法人恵心会	永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	https://nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム	藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	https://fh.fujimoto.com/
医療法人一誠会	都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp/
医療法人隆誠会	延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	https://www.nyuseikai.jp/hoyouen
医療法人建悠会	吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	https://yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会	谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	https://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会	内村病院	886-0002	小林市水流追852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	https://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会	小林保養院	886-0003	小林市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	https://www.kobayashihiyoin.or.jp
医療法人和敬会	国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	https://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会	県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会	協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/hospital
医療法人望洋会	鰐島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	https://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会	瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	https://www.takii-hospital.com
特定医療法人浩洋会	田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	https://tanaka-hp.or.jp
医療法人恵喜会	西都病院	881-0023	西都市大字諏殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	https://saito-hospital.com
医療法人りつか会	ピア・ささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	https://www.peer-ricka.jp
医療法人新花会	あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	https://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会	近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会	福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	https://www.hukunagananika-miyazaki.com
医療法人芳明会	早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	https://houmei.or.jp
野田クリニック		882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
医療法人こごう	こごうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.kogomentalclinic.jp
北野メンタルクリニック		880-0824	宮崎市大島町南窪81-4-4マルコービル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
宮崎県社会福祉事業団	向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人hardtピア	みよしクリニック	880-0814	宮崎市江平中町6-17	0985-35-1100	0985-38-1711	https://heartopia.net
みずのメンタルクリニック		883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会	中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターーアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	https://www.nakamura-clinic-s.com
医療法人サクラ会	あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地1	0985-74-5600	0985-74-5601	https://akebono-hp.com
医療法人社団博心会	大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町富田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
医療法人社団弘文会	松岡内科医院	883-0014	日向市原町1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科		882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人社団	龍水クリニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-86-8006	0985-86-8007	

精神保健福祉みやざき(第65号)

令和7年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会
(精神保健福祉センター)
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
TEL 0985-27-5663
FAX 0985-27-5276

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師 清 裕 彰
日南保健所健康づくり課	主任 技師 磯貝 公 美
都城保健所健康づくり課	技 師 須志田 佳 代
小林保健所健康づくり課	技 師 吉 田 光 里
高鍋保健所健康づくり課	主任 保健師 倉 永 笑 民
日向保健所健康づくり課	主任 技師 溝 邊 はづき
延岡保健所健康づくり課	技 師 高 山 紗 希
高千穂保健所健康づくり課	主任 技師 永 野 由布子
精神保健福祉センター	副 所 長 田 代 健 二
	主 任 三 原 啓 枝
	主任 主事 内 田 有 美

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

次のような状態にあり支援を必要とする方

- ・何らかの生きづらさを抱え、生活上の困難を感じている方
- ・家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある方

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30～17:15（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

※まずはお電話ください。



カラダの元気はココロから。宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <https://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	いずれも午後1時～午後4時（予約制）
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

こころの電話相談

月曜日～金曜日 【午前9時～午後7時】

（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聞いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。

貸出もし行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなどDVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。

※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取組を紹介しています。

アドレス <https://www.miya-seiren.com>

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階
TEL : 0985-27-5663／FAX : 0985-27-5276

アドレス <https://www.seihocenter-miyazaki.com>



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

次のような状態にあり支援を必要とする方

- ・何らかの生きづらさを抱え、生活上の困難を感じている方
- ・家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある方

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30～17:15（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

※まずはお電話ください。



カラダの元気はココロから。宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <https://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	いずれも午後1時～午後4時（予約制）
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

こころの電話相談

月曜日～金曜日 【午前9時～午後7時】

（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聞いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。

貸出もし行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなどDVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。

※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取組を紹介しています。

アドレス <https://www.miya-seiren.com>

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階
TEL : 0985-27-5663／FAX : 0985-27-5276

アドレス <https://www.seihocenter-miyazaki.com>



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会